

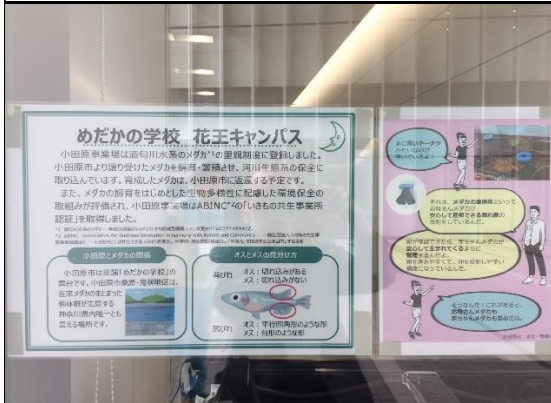
活動報告 2024 年 6 月～2024 年 8 月

6 月 9 日、酒米の田植えを、自然農法で行いました。



田起こしをしない田んぼ（不耕起田んぼ）、これが自然農法ということですが、サポーターの会では初めての挑戦でした。いつもは苗を土に差し込めばすんだのですが、田起こしをしていない分、土は固く、棒を差し込んで苗を刺すという時間もかかる作業となりました。ご覧のように、雑草もそのまま、例年のような美しい苗の配列なども見ることができません。山田さんの解説では、雑草は増えないはずと聞いてはいましたが、いやいや 10 月下旬か 11 月上旬には稲刈りを迎えますが、今までのようなスイスイと鎌で刈り取る稲刈りとはならず、ひと工夫もふた工夫も必要な稲刈りになる見込みです。日取りは調整中です。

メダカを飼育している花王を訪問してきました。



花王の環境セクションから連絡が入りました。30 匹ほどを飼育中だが、数が増えないのでアドバイスを欲しいとのことでした。6 月 27 日、高橋由季さんと二人で訪問しました。エントランスを入ると、すぐそばに大きな水槽が置かれ、外からもガラス越しに見ることが出来ました。お話をきくと、エサの分量や回数、水の交換、水草の量など何の問題もありません。卵のチェックも行われていてキッチンと別の小さな水槽に分離してなど管理も行き届いています。とにかく、飼育状況に問題はないので、考えられるのは、30 数匹のオスメスの比率ではないか、どちらかにかたより過ぎている可能性ぐらいしか思い至りませんでした。小田原市に相談して、ある程度の数を増やしてもらう相談を試みたらいかかかということに。最後に、ホンネも聞けたのですが、ライオンも企業として飼育していて、こちらは順調に毎年、100 匹、200 匹と小田原市に戻しているの、負けたくないという話なのですね。苦笑するしかなかったですが、3 人の担当者が桑原の野生のメダカの生息地を見たことがないというので、水槽飼育もいいけど、野生も大事と言い残してきました。案内しますからどうぞ、と言ったのですが今のところコンタクトはありません。（苦笑）

ザリガニ減少か？今年は驚きの釣果なのです。

7月34匹、8月36匹、9月81匹。例年だと200、300は当たり前だった釣果が激減しています。何故でしょうね？ さすがのアメリカザリガニもこの猛暑では「暑すぎだあ！」と言って出てこないのか、それとも長年の駆除活動が少しは成果となってきているのか、図りかねているところです。そういえば、揺籠中のメスザリガニを今までは捕まえることはほとんどなかったのですが、昨年あたりから、ザリガニ釣り大会のたびに1匹は捕まえています。その1匹だけで、200、300匹の捕獲とも言えるのでその効果も少しは出ているのかもしれませんが。



左の写真は、9月16日に捕獲の揺籠中のメス。ただ我々が駆除しているのは、水田ビオトープと五間堰の一部の水路だけ。メダカ生息地全体でザリガニを観察できているわけではないので、予断は許されません。下の写真は、五間堰での水路の中での草刈ですが、彼ら高校生2人の証言によると、「ザリガニ、うじゃうじゃいますよ」とのこと。次回は、水路に入ってしまった、網や手づかみで捕まえてみるのも面白いかもしれませんが、子どもたち、手づかみ、できるかな。



全体活動日に、めだか米の試食をしました。



7月7日の全体活動日は、パトロールに、草刈に、ザリガニ釣りに皆さんお疲れさまでした。終わってから皆さんを待ち受けていたのは、水田ビオトープに用意されていた、「めだか米」のおにぎり。赤松尚子さんが準備してくれました。おいしかったね。ちょうどこの日は、七夕の日。笹も用意してもらって、みなさん願い事の短冊をかけていました。



夏休みボランティア受け入れ、ことしは23名でした。

8月4日の全体活動日に、ボランティア希望の皆さんを受け入れました。今年は、事前に7月中旬の段階で、相洋高校と旭丘高校に、UMECO とともに出向き、「ボランティア活動について」という話をしたり、あわせて夏休み中の小田原市の「夏ボラ制度」の案内なども行ってきました。もちろん当会の活動紹介を例にあげながらです。

その結果、両校から当会の8月4日への活動への参加は、10人を数えました。もちろん、小学生を中心としたご家族がたくさん来てくれましたが、高校生の参加が増えることは頼もしい限りです。

秋は、行事がたくさん。3つのイベント予告します。

●おだわら SDGs デイ 2024 参加 9月28日(土) 10:30~15:30
ハルネおだわら うめまる広場

LINE ではお伝えしましたが、神鋼環境ソリューション・相鉄企業・めだかサポーターの会の共同出展になります。(ミニアクアリウムの制作体験)プログラムを実施します。多くの会社や学校も参加しています。

●SAVEJAPAN プロジェクト

「みんなで稲刈り大作戦」 10月20日(日) 9:30~14:30

めだかサポーターの会管理の田んぼや、メダカーズの田んぼの稲刈りです。

おなじみになった SAVEJAPAN プロジェクトとして開催します。100人の皆さんに集まっていただく計画をたてています。今回は、旭丘高校相撲部の皆さんが参加されることが決まっています。(新入幕を果たした阿武剋関は旭丘高校相撲部のOBです)

●下水道ふれあい祭り 10月26日(土) 10:00~15:00 酒匂きりり広場

昨年に続いての出展です。メダカを始めとした生き物展示と、会の活動紹介を行います。

また、めだか米の会よりの委託として「めだか米」の販売も行います。

※それぞれの行事の詳細については、皆さんにメールとLINEで後日ご連絡します。

